

## ■がん死亡率（標準化死亡比=SMR）（医療圏別）グラフ説明■

### [がん死亡率（標準化死亡比=SMR）（医療圏別）](#)

#### Standardized cancer mortality ratio by 344 medical areas [ heat map ]

タイトル部分をクリックすると、グラフページにリンクします

#### ○趣旨

がんの種類（全がん、肺がん、大腸がん、胃がん、肝がん）に関して、男女別に、344 医療圏の標準化死亡比（Standardized mortality ratio=SMR）を表示。SMR は日本全体の年齢構成とその地区の年齢構成を比較し、その地域で発生すると予想される死亡数と実際の死亡数の比率から計算されています。100 が標準で、100 を超えると死亡が多い可能性がある、150 であれば 1.5 倍多い可能性がある、といった風に読みます。

#### ○表示方法

ヒートマップ（数値の大小を色の変化で示す）表示をしています。ここでは、数値が悪いと考えられるところが赤に、良いと考えられるところが緑に表示されています。各数値はカーソルを合わせるとポップアップして見えます。

#### ○フィルター

都道府県フィルターと項目フィルターがあります。チェックを入れたり外したりすることで、表示する範囲を自分で変えることができます。

#### ○ダウンロード

右下のダウンロードボタンを押すと、図や背景データが取得できます。自分のプレゼン資料に使ったり、自分で加工を加えたりすることができます。

#### □使用例

- ・ 自分の関心のある地域について、死亡率が高い（赤く表示）がんの部位がないか、チェックします。
- ・ 死亡率が高い部位が見つかった場合は、出典にある他のデータを確認することが推奨されます。
- ・ また、医療圏単位ではなく県単位のデータになりますが、肺がん、大腸がん、乳がん、胃がんに関しては、それぞれの「データセット（箱ひげ図）」を開き、県の死亡、罹患、早期発見、治療成績の数値を確認することができます。

□出典

がん対策地域別データ集 (<https://cpsum.org/ccm>)

大腸がんデータ集 ([https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm\\_ver3.0.1\\_col.xlsx](https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm_ver3.0.1_col.xlsx))

肺がんデータ集 ([https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm\\_ver3.0.1\\_lng.xlsx](https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm_ver3.0.1_lng.xlsx))

乳がんデータ集 ([https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm\\_ver3.0.1\\_bre.xlsx](https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm_ver3.0.1_bre.xlsx))

胃がんデータ集 ([https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm\\_ver3.0.1\\_sto.xlsx](https://cpsum.org/pdf/ccm/301/ccm_ver3.0.1_sto.xlsx))

上記の医療圏別標準化死亡比 (SMR) の数値を使用

□原典

「平成 20～24 年人口動態保健所・市区町村別統計」から「全国地域別・病床機能情報等データベース」

(<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/data/>) で算出された数値